

平成26年度

第3年次編入学学生募集要項
(社会人特別入試を含む)

理学部

生活科学部

(人間・環境科学科【6月実施入試】)



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

〒112-8610

東京都文京区大塚2丁目1番1号

Tel 03 (5978) 5151,5152 (入試チーム)

HP <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

目 次

○ 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
I お茶の水女子大学のアドミッション・ポリシー	1
II 学部のアドミッション・ポリシー	1
○ 平成26年度お茶の水女子大学	
理学部第3年次編入学生募集要項	2
お茶の水女子大学理学部履修概要	2
学科の受入方針	3
I. 一般入試	5
1. 募集人員	5
2. 出願資格	5
3. 出願手続	5
4. 選抜方法	6
II. 社会人特別入試	8
1. 募集人員	8
2. 出願資格	8
3. 出願手続	8
4. 選抜方法	9
○ 平成26年度お茶の水女子大学	
生活科学部（人間・環境科学科）第3年次編入学生募集要項	11
お茶の水女子大学生活科学部	
人間・環境科学科履修概要	11
学科の受入方針	11
I. 一般入試	12
1. 募集人員	12
2. 出願資格	12
3. 出願手続	12
4. 選抜方法	13
II. 社会人特別入試	14
1. 募集人員	14
2. 出願資格	14
3. 出願手続	14
4. 選抜方法	15
○ 合格発表等（理学部・生活科学部（人間・環境科学科）共通）	16
1. 合格者の発表	16
2. 個人情報及び試験成績の利用について	16
3. 入学料及び授業料	16
4. 注意事項	16
5. 「大学案内」の請求	16
6. 平成25年度第3年次編入学試験実施状況	17
7. 平成27年度第3年次編入学試験に関する変更の予告	17
○ 奨学金、入学料免除、授業料免除、学生寮等	18
○ お茶の水女子大学交通案内	20

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

I. お茶の水女子大学のアドミッション・ポリシー

お茶の水女子大学は、学ぶ意欲のあるすべての女性の真摯な夢の実現の場であることを使命とし、幅広い教養と高度な専門性を身につけた女性リーダーの育成を目指しています。そのため不断に教育改革を進め、文理融合 21 世紀型リベラルアーツ教育の導入（平成 20 年度）に引き続き、平成 23 年度に複数プログラム選択履修制度を導入して新たな専門教育課程をスタートさせました。お茶の水女子大学では、すべての女性が年齢・国籍などにかかわらず自立した女性として、生涯にわたって多様に活躍できるキャリア形成の場を提供しています。知的好奇心と探究心を抱き、勉学意欲に富んだ学生の入学を期待しています。

II. 学部アドミッション・ポリシー

文 教 育 学 部	<p>人間は、過去から現在に至るまで地球上のさまざまな地域で、言語をはじめとする文化や科学技術を創造し、政治、経済、教育などの諸社会組織を発展させてきました。人間と文化と社会を理解するためには、時間軸と空間軸の上に現代社会を位置づけ、マクロからミクロに至る多角的なアプローチが必要です。文教育学部は、人間と文化と社会に迫る、人文・社会系の総合的な学部です。文教育学部は、人文科学科、言語文化学科、人間社会科学科、芸術・表現行動学科の4つの学科からなり、各学科には複数のコースが置かれ、また学科の枠を越えたグローバル文化学環が設けられています。あわせて13のコース・環があり、それぞれが専門教育の各種プログラム（主・強化・副・学際）を提供し、また学生が所属する組織となります。多彩なプログラムと少人数教育によって、専門的に深く、総合的に広く学ぶためのカリキュラムを用意しています。</p> <p>文教育学部に3年次編入学を志望される皆さんには、これまでの専門を生かしつつ、文科系の科目はもちろん理数系の科目まで幅広く、同時にどん欲に深く学習されることを望みます。多様な領域でのリーダーを目指し、意欲と能力と個性に富んだ皆さんが志望されることを期待します。</p>
理 学 部	<p>理学部とは、基礎科学の分野を研究対象として、主に自然界の原理や法則の探究を行うところです。本学部は、数学、物理学、化学、生物学、情報科学の5学科からなり、少人数ゆえのきめ細かな指導により、高水準の教育・研究を行ってきており、数少ない女子大学の理学部として多くの有為な人材を養成してきました。最近ではさらに大学院に進む者も多く進学率は6割を超えています。</p> <p>本学部では、このような教育・研究の場に知的好奇心溢れる女性を受け入れ、次世代のリーダーあるいは中核となる人材を育成し、社会に輩出することを目指しています。</p> <p>高等専門学校・短期大学の卒業生など他の高等教育機関で教育を受け、より高度な理学専門教育の機会を得て、さらなる高みへの飛翔を志す方を対象としており、志望者には、数学、物理学、化学、生物学、情報科学等を学び、自然科学の知識を習得することはもちろんのこと、論理的思考力を身につけるようにすること、筋道の立った文章が書けることなど、が望まれます。</p>
生 活 科 学 部	<p>現代のわたしたちの日常生活は、日々、地球規模の変化と連関の中で営まれており、あらゆる場面で持続可能性が問われています。生活の質と作法を再検討し、現代にふさわしい価値と規準を発見し創出することは、まさに時代の要請だといえます。</p> <p>生活科学はこの要請に応えるために、食の科学と健康、人間と環境、人間の発達と心の健康、人間生活と社会、人間生活と文化に関する諸問題を、高度に専門分化した学知を結集して、生活者の視点から多面的かつ総合的に解明することを目指しています。</p> <p>生活科学部の特徴は、第1に、このような文理融合の総合応用科学としての生活科学を学ぶ点にありますが、第2に、(1)高密度の講義、(2)少人数の実験・実習・演習、(3)個別的な卒業論文指導を軸とする少人数教育にあります。また特に家庭科の教員免許を取得しやすいカリキュラムになっていることも生活科学部の特徴の一つです。</p> <p>生活科学部は、人間と生活と環境を分析的かつ総合的に理解する技法を学び、専門的学知に裏打ちされた確かな教養と豊かな構想力を身につけ、将来、社会の多方面で活躍する女性リーダーを育成することを使命としています。</p>

平成26年度お茶の水女子大学理学部第3年次編入学学生募集要項

お茶の水女子大学理学部では、社会における女性の地位向上と相まって要請されている、高度な学識と広い視野を持つ女子学生の育成を目指してきました。高等教育の多様化の一環として、既に社会人としてご活躍の方々のリカレント教育や、短期大学・高等専門学校を卒業して更に深い専門知識を求めようとする方に、より高度な理学部専門教育の機会を提供することが、この制度の趣旨であります。これが、自然科学の修学を目指す女性の方々の更なる高みへの飛翔の出発点となることを期待いたします。

お茶の水女子大学理学部履修概要

1. 履修方法及び課程の修了

- (1) 卒業するためには、本学理学部履修規程に定めるところにより、124単位以上を修得しなければなりません。
- (2) 本学部に編入学前に在学した大学等において修得した単位については、本学部の定める基準に従って卒業要件単位として認定される場合もあります。
- (3) 卒業に必要な単位を修得した者については、学士(理学)の学位を授与します。
- (4) 本学が行う「複数プログラム選択履修制」において、理学部第3年次編入学学生は原則として、主プログラムと強化プログラムを履修することとします。(複数プログラム選択履修制に関しては、以下を参照。)
<http://www.ocha.ac.jp/nsep/popp/index.htm>
- (5) 本学のカリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーについては、以下を参照。
<http://www.ocha.ac.jp/program/index.html>

2. 各学科の授業科目

学 科	主な専門教育科目
数 学 科	線形代数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、同演習Ⅰ・Ⅱ、微分積分学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、同演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、ベクトル解析、位相空間論、同演習、代数学Ⅰ・Ⅱ、代数学演習、関数論、同演習、数学講究
物 理 学 科	古典力学、解析力学、力学系理論、電磁気学Ⅰ・Ⅱ、物理数学Ⅰ・Ⅱ、数理物理学、量子力学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、熱力学、統計力学、力学演習、電磁気学演習、物理数学演習、量子力学演習、統計力学演習、基礎物理学実験、物理学実験、特別研究
化 学 科	物理化学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、無機化学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、有機化学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、生物化学Ⅰ・Ⅱ、分析化学Ⅰ・Ⅱ、分子分光法、基本化学実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、専門化学実験Ⅰ・Ⅱ、化学演習Ⅰ・Ⅱ、特別研究Ⅰ・Ⅱ
生 物 学 科	生化学、生物物理学、動物系統学、植物生理学、基礎遺伝学、細胞生物学、分子細胞情報学、分子遺伝学、代謝生物学、動物生理学、発生生物学、進化生物学、生物学実習Ⅰ・Ⅱ
情報科学科	線形代数学Ⅰ・Ⅱ、微分積分学Ⅰ・Ⅱ、数理基礎論、コンピュータシステム序論、データ構造とアルゴリズム、コンピュータ基礎演習、プログラミング実習、確率序論、離散数学、微分積分学Ⅲ、システムプログラミング実習、コンピュータアーキテクチャⅠ・Ⅱ、コンピュータネットワークⅠ、マルチメディア、マルチメディアプログラミング実習、特別研究

※ 上記授業科目以外にも、専門教育とそれに関連した科目が多数用意されている。

学科の受入方針

【数学科】

数学は、あらゆる現象の背後にある数や図形の永久に変わらない真理を追究する学問です。数学を学ぶ上で大切なことは、基本的にすべて自分で考えて進まなければならないということです。しかし、誰でも好きなところで休み、物思いにふけったり、ときには寄り道をしたり、自分だけの道を進むことができます。そうしていくうちに生涯をとおして大切な美しいものにも、実生活で役に立つものにも出会います。また数学を学ぶことは、世界を見通すための厳格な論証法を身につけるためにも大変有効であると考えます。このような観点から、数学科では、教師や研究者のように数学を職業としたい人だけでなく、社会を支える数理的な素養を備えた人材の育成を目指しています。

そこで主に以下のような目標を持った人を3年次編入生として求めます。

- ・高専や他大学で学ぶ中で、あるいは社会で活動する中で、工学・経済学・統計学などの背景にある数学の理論を基礎からしっかりと学びたいと思う人
- ・高専や他大学で学んだことに数学的な素養を加えて、人生の選択肢を広げたいと考えている人
- ・とにかく数学に対して意欲を持って勉強したい人

受験生に求めるのは、

- ・高校での数学を十分に理解している
- ・大学初年級相当の数学を高専・他大学その他で学んでいる

ことです。但し、3年次編入し新たに数学を本格的に学び始めるには、語学を含めた広い基礎的な学力はむしろ、数学の基礎をさらい直すことも必要になるかもしれません。数学科はそれに対する援助を惜しみません。

【物理学科】

3年次編入は、高専や短大等、本学以外の教育機関で、これまで学んできた学習成果をさらに充実させるための制度です。これまでの学習成果を基礎にして、物理学科の専門課程を2年間という短期間で習得できます。ただし、本物理学科での2年次の講義・実験がそのままでは欠落するので、それまでの経歴によっては、他の学生より密度の濃い学習が要求されます(既習の学習成果が、該当する科目等に振り替える事ができれば、負担は相当に軽減されます)。「自然科学の基礎である物理学を学ぶ事により、生き生きと充実した人生を送ること」を目標に、卒業後に広く社会において指導的な役割を果たす女性となることが期待されています。また、そのような自覚を持ってほしいと願っています。このために、自ら考えて問題を見つけだし、自ら考え・自ら実践して問題を解決するスキルを身につける、という目的意識を持って勉学に励んでいただきたい。

【化学科】

化学は、原子・分子をなかだちとして自然科学のあらゆる分野と密接に協力して発展するものであり、その領域は数学・物理学の理解が不可欠な分野から、さらに生物学や地球科学の知識の必須な分野までに広がっています。そのために化学科では、筋道を立てて考える論理的な思考力や、それを支える基盤となる科目(化学を中心に自然科学全般)の幅広い基礎知識、文献を読みこなすための英語の力、および自分の考えを正しく表現する能力が必要です。また実験(計算機実習も含む)は化学的センスを養うためにも重要です。常に積極的な姿勢で、注意深く、忍耐強く対象を観察し、深く考える習慣や、応用力、個性的な発想力をもつ学生を期待します。特に3年次編入学生は、カリキュラム上の制約から、専門科目の基礎を履修する機会が十分でない場合もあり得ます。そのような場合にも、積極的に自ら補う姿勢が必要です。化学の専門性を確立するため、大多数の学生が大学院に進学している状況です。この環境の中で腰をすえて実力をつけるよう、強い意志と高い目標をもつ学生を歓迎します。

【生物学科】

生物学では、微生物からヒトまで、多種・多様な“生き物”の複雑で多様な生命現象を研究します。そのためには、いろいろな視点から考える柔軟な思考力とそれを支える幅広い基礎知識が必要です。従って、理系、文系を問わず、教科科目を幅広く学び、論理的思考や知的好奇心をはぐくんでいることを希望します。また、“生き物”の複雑で多様な生命現象を観察し、“生き物”と忍耐強く対話し、自ら考え、自ら問題を見つけ、試行錯誤しながらこれを解決する意欲とパワーをもつ学生を希望します。“生き物”に関する理解と関心を深め、人類子孫により豊かな知の遺産を残せる人間に育つことを期待しています。

【情報科学科】

21世紀を支えるのは自分たち女性科学者・技術者だと心底思っている人、あるいは思いたい人、あるいはそういわれて「そうなんだ」と今気づいた人、大歓迎です。女子大の良いところは、コンピュータに関することを何から何まで自分たちの手で行うところです。共学校だとついつい男性任せになってしまうLANの配線や設定、コンピュータの立ち上げ設定やバックアップ作業、あるいはシステムインテグレーションなどすべてを、好きでも嫌いでも自らが行わないといけません。情報科学の習得を通じて、社会で活躍したい学生を歓迎します。

I. 一般入試

1. 募集人員

学 科	募 集 人 員
数 学 科	一般入試、社会 人特別入試をあ わせて 10名
物 理 学 科	
化 学 科	
生 物 学 科	
情 報 科 学 科	

2. 出願資格

次のいずれかに該当する女子とする。

- (1) 大学を卒業した者及び平成26年3月までに卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者及び平成26年3月までに卒業見込みの者
- (3) 高等専門学校を卒業した者及び平成26年3月までに卒業見込みの者
- (4) 平成26年3月31日までに本学以外の大学に2年以上在学し、62単位以上修得見込みの者
- (5) 大学に2年以上在学し、62単位以上修得した者
(平成26年3月本学卒業見込みの者以外で本学在学中の者は除く。)
- (6) 外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者及び平成26年3月までに修了見込みの者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。)
- (7) 外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者及び平成26年3月までに修了見込みの者

注) 出願資格(7)により出願しようとする者は、出願資格の確認をしますので、平成25年5月27日(月)までに入試チームへ必ず問い合わせてください。

3. 出願手続

(1) 出願期間

平成25年6月3日(月)から平成25年6月6日(木)まで【必着】

ただし、6月5日(水)以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

(2) 出願方法

出願書類を一括して、必ず本学所定の出願用封筒を用い、「書留速達」で下記あてに郵送すること。

[送付先] 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学入試チーム

(3) 提出書類等

願書・写真票・受験票	本学所定の用紙(生物学科志願者のみ、口述試験日の希望について記入すること。)
志望理由書	本学所定の用紙
卒業(見込)証明書 在学証明書 退学(在籍)証明書	左記のうちいずれか1通
成績証明書	出身大学等の長が作成し厳封したもの。
単位修得見込証明書	(在学証明書を提出する者のみ) 出身大学で作成していない場合は、履修登録科目一覧表等の単位数の記載されているもののコピーでも可。
検 定 料 (納入済票)	30,000 円〔 ゆうちょ銀行以外 の金融機関で本学所定の振込依頼書により支払うこと。手数料は本人負担。ご依頼人名義欄は、必ず 受験生の氏名 を記入すること。振込依頼書の 納入済票(大学提出用)部分のみ を切り離し、願書裏面の所定の位置に貼付すること。〕
受験票返送用封筒	本学所定の受験票返送用封筒に送付先を明記して、350 円分(定形郵便 80 円+速達郵便 270 円)の切手を貼付すること。
宛名シール2枚	合格通知に必要なので、確実に連絡が取れる住所を記入すること。

(4) 心身に障害等のある入学志願者の出願

本学に入学を志望する者のうち、心身に障害あるいは疾病があり、受験上及び修学上、特別の措置を必要とする者(点字又は代筆による解答を希望する者を含む)については、事前相談を行うので、原則として平成25年5月27日(月)までに本学入試チームに申し出てください。その際、「受験特別措置事前相談申請書」や「医師の診断書」等を提出していただく場合があります。

なお、措置の内容によっては、直ちに対応できない場合もありますのでご了承ください。また、特別措置を講じる必要がないまでも、修学上の不安等を感じる者も、同様の問い合わせをしてください。

4. 選抜方法(一般入試・社会人特別入試 共通)

入学者の選抜は、学力検査(筆記試験・口述試験)及び成績証明書等を総合して判定する。

学 科	平成25年6月26日(水)(6月27日(木))***	
	試 験 科 目	時 間
数 学 科	数 学 *	10:00~12:00
	英 語	13:00~14:00
	口述試験	15:00~
物 理 学 科	数 学	9:00~10:30
	物 理 学	10:40~12:10
	口述試験	13:30~
化 学 科	化 学	10:00~12:00
	英 語	13:00~14:00
	口述試験	15:00~
生 物 学 科	生 物 学	10:00~12:00
	英 語	13:00~14:00
	口述試験	15:00~
情 報 科 学 科	数 学 *	9:00~10:30
	情 報 **	10:40~12:10
	英 語	13:00~14:00
	口述試験	15:00~

- * 微分・積分、線形代数
- ** 情報系学部1、2年生必修科目程度
- *** 生物学科では一般入試と社会人特別入試を合わせた志願者が24名を超えた場合、一部の受験者の口述試験を6月 27 日(木)に実施することがある。編入学願書に口述試験日の希望を記入すること。なお、希望に添えないこともある。
口述試験日は受験票返送時に通知する。

Ⅱ. 社会人特別入試

1. 募集人員

理学部一般入試の募集人員(5 ページ)を参照してください。

2. 出願資格

出願時に社会人(学校卒業後、収入を伴う仕事に就いていなくても構わない)としての経験を1年以上有し、次のいずれかに該当する女子とする。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 高等専門学校を卒業した者
- (4) 外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。)
- (5) 外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者

注) 出願資格(5)により出願しようとする者は、出願資格の確認をしますので平成25年5月27日(月)までに入試チームへ必ず問い合わせてください。

なお、入学時において現職のまま入学しようとする者は、入学手続の際に企業等の所属長が作成した入学承諾書(様式随意)を提出すること。

3. 出願手続

(1) 出願期間

平成25年6月3日(月)から平成25年6月6日(木)まで【必着】

ただし、6月5日(水)以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

(2) 出願方法

出願書類を一括して、必ず本学所定の出願用封筒を用い、「書留速達」で下記あてに郵送すること。

[送付先] 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学入試チーム

(3) 提出書類等

願書・写真票・受験票	本学所定の用紙(生物学科志願者のみ、口述試験日の希望について記入すること。)
志望理由書	本学所定の用紙
卒業証明書	
成績証明書	出身大学等の長が作成し厳封したもの。
検定料 (納入済票)	30,000 円〔 ゆうちょ銀行以外 の金融機関で本学所定の振込依頼書により支払うこと。手数料は本人負担。ご依頼人名義欄は、必ず 受験生の氏名 を記入すること。振込依頼書の 納入済票(大学提出用)部分のみ を切り離し、願書裏面の所定の位置に貼付すること。〕
受験票返送用封筒	本学所定の受験票返送用封筒に送付先を明記して、350 円分(定形郵便 80 円＋速達郵便 270 円)の切手を貼付すること。
あて名シール2枚	合格通知に必要なので、確実に連絡が取れる住所を記入すること。

(4) 心身に障害等のある入学志願者の出願

本学に入学を志望する者のうち、心身に障害あるいは疾病があり、受験上及び修学上、特別の措置を必要とする者(点字又は代筆による解答を希望する者を含む)については、事前相談を行うので、原則として平成 25 年 5 月 27 日(月)までに本学入試チームに申し出てください。その際、「受験特別措置事前相談申請書」や「医師の診断書」等を提出していただく場合があります。

なお、措置の内容によっては、直ちに対応できない場合もありますのでご了承ください。また、特別措置を講じる必要がないまでも、修学上の不安等を感じる者も、同様の問い合わせをしてください。

4. 選抜方法(一般入試・社会人特別入試 共通)

入学者の選抜は、学力検査(筆記試験・口述試験)及び成績証明書等を総合して判定する。

学 科	平成 25 年 6 月 26 日(水) (6 月 27 日(木))***	
	試 験 科 目	時 間
数 学 科	数 学 *	10:00～12:00
	英 語	13:00～14:00
	口述試験	15:00～
物 理 学 科	数 学	9:00～10:30
	物 理 学	10:40～12:10
	口述試験	13:30～
化 学 科	化 学	10:00～12:00
	英 語	13:00～14:00
	口述試験	15:00～
生 物 学 科	生 物 学	10:00～12:00
	英 語	13:00～14:00
	口述試験	15:00～
情 報 科 学 科	数 学 *	9:00～10:30
	情 報 **	10:40～12:10
	英 語	13:00～14:00
	口述試験	15:00～

- * 微分・積分、線形代数
- ** 情報系学部1、2年生必修科目程度
- *** 生物学科では一般入試と社会人特別入試を合わせた志願者が24名を超えた場合、一部の受験者の口述試験を6月 27 日(木)に実施することがある。編入学願書に口述試験日の希望を記入すること。なお、希望に添えないこともある。
口述試験日は受験票返送時に通知する。

平成26年度お茶の水女子大学 生活科学部（人間・環境科学科） 第3年次編入学 学生募集要項

お茶の水女子大学生生活科学部では、社会における女性の地位向上と相まって要請されている、高度な学識と広い視野を持つ女子学生の育成を目指してきました。高等教育の多様化の一環として、既に社会人として活躍している方々のリカレント教育や、短期大学及び高等専門学校を卒業して、更に深い専門知識を求めようとする方々へ、より高度な生活科学の専門教育の機会を提供することがこの制度の趣旨です。

お茶の水女子大学生生活科学部（人間・環境科学科）履修概要

1. 履修方法及び課程の修了

- (1) 本学部の修業年限4年のうち、2年間は既に在学していたものとして通算し、入学後における修業年限は2年、在学することのできる年限は4年となります。
- (2) 卒業するためには、本学生生活科学部履修規程に定めるところにより、124単位以上を修得しなければなりません。
- (3) 本学では複数プログラム選択履修制度を導入しています。生活科学部第3年次編入学生は原則として、主プログラムと強化プログラムを履修します。学部履修規程とともに、以下ホームページを参照して下さい。
http://www.ocha.ac.jp/campuslife/registration/2012ug_kitei_0622.pdf（学部履修規程）
<http://www.ocha.ac.jp/nsep/popp/index.htm>（複数プログラム選択履修制度）
- (4) 本学のカリキュラム・ポリシーと、ディプロマ・ポリシーについては、ホームページ（<http://www.ocha.ac.jp/program/index.html#project>）を参照して下さい。
- (5) 入学する前に在籍していた大学等において既に修得した単位は、本学部の定める基準に従って、卒業に必要な単位として認定される場合もあります。
- (6) コア(教養)科目及び専門科目等履修のため、3年以上在学しなければならない場合があります。
- (7) 卒業に必要な単位を修得した者については、学士(生活科学)の学位を授与します。

2. 人間・環境科学科の授業科目

学 科	主な専門教育科目
人間・環境科学科	人類進化史、水環境工学、人間工学、建築一般構造、建築設計製図演習 I・II、環境材料物性、人間環境科学実験実習 I・II・III 他

※ 上記授業科目以外にも、専門教育とそれに関連した科目が多数用意されている。

学科の受入方針

【人間・環境科学科】

人間は、利便性、快適性、安全性などを追求し、身の回りの環境を常に変えて来ました。食糧は豊富になり、暮らしは便利になり、病気が減り寿命も延びました。しかしその反面、環境のあまりに大きく急速な変化に対して人間が適応できず、人類の存続にも影響する様々な問題も生じてきています。これに対して本学科では、「人間にとっての環境、環境にとっての人間」という視点に立ち、人間と環境の相互の働きかけを具体的に評価・設計・提案し、よりよい生活環境を創造するための研究と教育を行っています。本学科の柱となる学問分野には、自然人類学、人体生理学、人間工学、福祉工学、環境機能材料学、環境化学、環境衛生工学、建築学(意匠、計画)などがあります。自然科学の好きな人、人間と環境にかかわる基礎的な科学を十分に学び、深く研究してみたい人、専門家として真に健康で豊かな生活を構築するために寄与したいと考えている人を、本学科は歓迎します。

編入学試験では、短期大学、高等専門学校、他大学学部などで勉強を進める中で、あるいは社会人として経験を積む中で、さらに専門知識を求め、発展させようとする問題意識と具体的な研究課題をもった人を期待しています。選抜方法は学力検査(筆記試験:自然科学に関する基礎知識)、口述試験及び成績証明書などを総合して行い、合格者を決定します。

I. 一般入試

1. 募集人員

学 科	募 集 人 員
人間・環境科学科	一般入試、社会 人特別入試をあ わせて 10名

(注) 募集人員(10名)については、平成25年10月に実施する生活科学部人間・環境科学科及び人間生活学科編入学試験における募集人員と合わせた人数

2. 出願資格

次のいずれかに該当する女子とする。

- (1) 大学を卒業した者及び平成26年3月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者及び平成26年3月卒業見込みの者
- (3) 高等専門学校を卒業した者及び平成26年3月卒業見込みの者
- (4) 平成26年3月31日までに本学以外の大学に2年以上在学している者で62単位以上修得見込みの者
- (5) 大学に2年以上在学し、62単位以上修得した者
(平成26年3月本学卒業見込みの者以外で本学に在学中の者は除く。)
- (6) 外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者及び平成26年3月までに修了見込みの者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。)
- (7) 外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者及び平成26年3月までに修了見込みの者

注) 出願資格(7)により出願しようとする者は、出願資格の確認をしますので、平成25年5月27日(月)までに入試チームへ必ず問い合わせてください。

3. 出願手続

- (1) 出願期間

平成25年6月3日(月)から平成25年6月6日(木)まで【必着】

ただし、6月5日(水)以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

- (2) 出願方法

出願書類を一括して、必ず本学所定の出願用封筒を用い、「書留速達」で下記あてに郵送すること。

[送付先] 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学入試チーム

(3) 提出書類等

願書・写真票・受験票	本学所定の用紙
志望理由書	本学所定の用紙
卒業（見込）証明書 在学証明書 退学（在籍）証明書	左記のうちいずれか1通
成績証明書	出身大学等の長が作成し厳封したもの。
単位取得見込証明書	（在学証明書を提出する者のみ） 出身大学で作成していない場合は、履修登録科目一覧表等の単位数の記載されているもののコピーでも可。
TOEIC 公開テスト (Listening/Reading) の公式認定証	「TOEIC 公開テスト(Listening/Reading)」の公式認定証(Official Score Certificate)。 TOEIC 受験日が出願開始日からさかのぼり2年以内を有効とする。公式認定証は未開封のまま提出すること。団体特別受験制度(TOEIC-IP テスト)によるスコアレポート(個人成績表)は認めない。
検定料 (納入済票)	30,000 円〔 ゆうちょ銀行以外 の金融機関で本学所定の振込依頼書により支払うこと。振込手数料は本人負担。ご依頼人名義は必ず 受験生の氏名 を記入すること。振込依頼書の 納入済票(大学提出用)部分 のみを切り離し、願書裏面の所定の位置に貼付すること。〕
受験票返送用封筒	本学所定の受験票返送用封筒に送付先を明記して、350 円（定形郵便 80 円＋速達郵便 270 円）の切手を貼ること。
あて名シール 2 枚	合格通知などの送付に使用するので、確実に連絡がとれる住所を記入すること。

(4) 心身に障害等のある入学志願者の出願

本学に入学を志望する者のうち、心身に障害あるいは疾病があり、受験上及び修学上、特別の措置を必要とする者（点字又は代筆による解答を希望する者を含む）については、事前相談を行うので、原則として平成 25 年 5 月 27 日(月)までに本学入試チームに申し出てください。その際、「受験特別措置事前相談申請書」や「医師の診断書」等を提出していただく場合があります。

なお、措置の内容によっては、直ちに対応できない場合もありますのでご了承ください。また、特別措置を講じる必要がないまでも、修学上の不安等を感じる者も、同様の問い合わせをしてください。

4. 選抜方法（一般入試・社会人特別入試 共通）

入学者の選抜は、学力検査(筆記試験・口述試験)及び成績証明書等を総合して判定する。

学 科	平成 25 年 6 月 26 日(水)	
	試 験 科 目	時 間
人間・環境科学科	自然科学に関する 基礎知識(100 点)	10:00～11:30
	口述試験	12:30～

Ⅱ. 社会人特別入試

1. 募集人員

生活科学部一般入試の募集人員(12 ページ)を参照してください。

2. 出願資格

入学時まで社会人としての経験を3年以上有し、次のいずれかに該当する女子とする。

- (1) 大学を卒業した者又は大学に2年以上在籍し、62 単位以上修得した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 高等専門学校を卒業した者
- (4) 外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者(学校教育法第90 条第1項に規定する者に限る。)
- (5) 外国において、学校教育における 14 年以上の課程を修了した者
注)出願資格(5)により出願しようとする者は、出願資格の確認をしますので、平成 25 年 5 月 27 日(月)までに入試チームへ必ず問い合わせてください。

3. 出願手続

(1) 出願期間

平成 25 年 6 月 3 日(月)から平成 25 年 6 月 6 日(木)まで【必着】

ただし、6月5日(水)以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

(2) 出願方法

出願書類を一括して、必ず本学所定の出願用封筒を用い、「書留速達」で下記あてに郵送すること。

〔送付先〕 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学入試チーム

(3) 出書類等

願書・写真票・受験票	本学所定の用紙
志 望 理 由 書	本学所定の用紙。社会人としての活動(収入を伴わない活動を含む。)と関連させて志望動機を書くこと。
卒 業 証 明 書 又 は 退 学 (在 籍) 証 明 書	退学(在籍)証明書の場合は、大学に2年以上在籍していたことが判るもの。
成 績 証 明 書	出身大学等の長が作成し厳封したもの。
在 職 証 明 書	在職中の者は在職証明書を提出すること。(様式は特に定めない。)
TOEIC 公開テスト (Listening/Reading) の公式認定証	「TOEIC 公開テスト(Listening/Reading)」の公式認定証(Official Score Certificate)。TOEIC 受験日が出願開始日からさかのぼり2年以内を有効とする。公式認定証は未開封のまま提出すること。団体特別受験制度(TOEIC-IP テスト)によるスコアレポート(個人成績表)は認めない。
検 定 料 (納 入 済 票)	30,000 円〔 ゆうちょ銀行以外 の金融機関で本学所定の振込依頼書により支払うこと。振込手数料は本人負担。ご依頼人名義は必ず 受験生の氏名 を記入すること。振込依頼書の 納入済票(大学提出用)部分 のみを切り離し、願書裏面の所定の位置に貼付すること。〕
受験票返送用封筒	本学所定の受験票返送用封筒に送付先を明記して、350 円(定形郵便 80 円+速達郵便 270 円)の切手を貼ること。
あて名シール 2 枚	合格通知などの送付に使用するのので、確実に連絡がとれる住所を記入すること。

- (4) 心身に障害等のある入学志願者の出願
生活科学部一般入試の出願手続(13 ページ)を参照してください。

4. 選抜方法（一般入試・社会人特別入試 共通）

生活科学部一般入試の選抜方法(13 ページ)を参照してください。

合格発表等（理学部、生活科学部人間・環境科学科共通）

1. 合格者の発表

(1) 平成25年7月4日(木)正午(予定)

本学南門掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を郵送します。
なお、同日正午に本学入試チームホームページにも合格者の受験番号を掲載することを予定しています。
電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

入試チームホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

(2) 入学手続

入学手続関係書類は、平成25年12月中旬頃に送付します。
入学手続は平成25年12月中旬頃に郵送により行います。

注)入学手続後であっても、入学資格(P.5. 8又はP.12、P.14「出願資格」に定める要件)を満たさない場合は、入学許可が得られません。

2. 個人情報及び試験成績の利用について

(1) 大学が取得した氏名、生年月日、住所、成績及び学修状況等の個人情報は、入学後の教務関係(学籍、修学指導等)、学生支援関係(学生証の発行、健康管理、授業料免除、奨学金の選考等)及び授業料等に関する業務を行うために必要な範囲内で利用します。

(2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試の改善や志願動向の調査・分析及びこれらに付随する業務を行うために必要な範囲内で利用します。

3. 入学料及び授業料

(1) 入学料 282,000円(予定額)

(2) 授業料年額 535,800円(前期分 267,900円) (予定額)

(入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。また、前期分の授業料を上記入学手続期間中に納付しない場合は、4月1日から5月31日までの間に納入することになります。)

4. 注意事項

(1) 出願後の書類の変更・返却及び検定料の払戻は行いません。

(2) 別途、この『理学部 生活科学部(人間・環境科学科)第3年次編入学学生募集要項』を請求する場合は、返信用の封筒(角形2号 24 cm×33.2 cm)に宛名を明記し、210円分(速達を利用の場合は520円分)の切手を貼ったものを同封し、請求する封筒の表に『理学部 生活科学部(人間・環境科学科)第3年次編入学学生募集要項請求』と朱書のうえ、請求してください。

5. 「大学案内」の請求

理学部、生活科学部の各学科等の紹介については、「お茶の水女子大学大学案内」を参照してください。大学案内は、テレメールで請求できます。インターネット(携帯電話・パソコン)<http://telemail.jp> からか、電話(050-8601-0101)にアクセスしてください。そこで、「大学案内」の資料請求番号「562372」をプッシュまたは入力し、あとはガイダンスに従って登録してください。

また、入試チームホームページ(<http://www.ao.ocha.ac.jp/>)からも請求できます。なお、テレメールでの請求に関しては、テレメールカスタマーセンター(電話050-8601-0102)(9:30～18:00)にお問い合わせください。



6. 平成25年度第3年次編入学試験実施状況

<理学部>

学 科	募集人員		志願者数		合格者数		入学者数	
	一般	社会人	一般	社会人	一般	社会人	一般	社会人
数 学 科	一般、社会人 特別入試と あわせて10名		4	0	2	0	2	0
物 理 学 科			5	0	3	0	2	0
化 学 科			5	0	3	0	3	0
生 物 学 科			4	0	0	0	0	0
情 報 科 学 科			5	0	3	0	3	0
合 計	10名		23	0	11	0	10	0

<生活科学部>

学 科	講 座	募集人員		志願者数		合格者数		入学者数	
		一 般	社会人	一 般	社会人	一 般	社会人	一 般	社会人
人間・環境科学科	—	一般、社会人 特別入試と あわせて10名		1	0	1	0	1	0
人 間 生 活 学 科	発達臨床心理学講座			5	2	3	0	3	0
	生活社会科学講座			8	1	4	0	4	0
	生活文化学講座			3	0	1	0	1	0
合 計		10名		17	3	9	0	9	0

7. 平成27年度第3年次編入学試験に関する変更の予告

【生活科学部】

生活科学部人間・環境科学科の第3年次編入学試験の実施時期については、平成27年度入試（平成27年4月入学）より、10月から6月に変更となりますが、平成26年度入試（平成26年4月入学）に限り、平成25年6月と10月の2回入試を実施します。

【理学部・生活科学部】

平成27年度入試の「英語」の筆記試験の変更（TOEIC、TOEFL等のスコアの導入）について、本学のホームページ（入試情報）でお知らせしますので、今後の発表にご注意ください。

- ・平成27年度お茶の水女子大学第3年次編入学試験における試験科目の変更等について(予告予定)

<http://www.ao.ocha.ac.jp/> の「News&INFO」を参照して下さい。

奨学金、入学料免除、授業料免除、学生寮等

1. **奨学金** (本学 HP から情報が見られます)

人物・学業ともに優秀でかつ経済的理由により修学に困難があると認められる者には選考の上、日本学生支援機構から奨学金が貸与されます。現在、第一種奨学金(無利子)、第二種奨学金(有利子)の2種類があります。新たに貸与を希望する者は4月中に募集の掲示を行いますので学生・キャリア支援チーム(Tel03-5978-5148)に照会してください。

外国人留学生の奨学金については、国際交流チーム(Tel03-5978-5143)に照会してください。

他に本学に設置された保育所を利用する学生に保育料の一部を援助する育児支援奨学金があります。これらを希望する者は、学生・キャリア支援チームに照会してください。

2. **入学料免除と授業料免除** (本学 HP から情報が見られます)

注意事項 入学料及び授業料を納付済の者は免除・猶予の対象となりません。

1) 入学料免除の制度と申請資格について

①入学料免除の対象者

次のa、bに該当する特別な事情により納付が著しく困難であると認められる者。

a 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という。)が死亡し、または本人若しくは学資負担者が風水害等の災難を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる者

b aに準ずる場合であって、相当の事由があると認められる者

②免除額について

入学料の免除が必要と認められた者については、納付すべき入学料の全額または半額を免除します。不許可となる場合もあります。

③申請時期

一般入試前期日程合格者の入学手続期間内(3月中旬)に所定の申請を行った者について選考をします。また、入学料徴収猶予(延納)の制度もあります。猶予については3)を参照してください。

2) 授業料免除の制度と申請資格について

①授業料免除の対象者

経済的理由により、授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。

②免除額について

授業料の免除が必要と認められた者については、納付すべき授業料の全額または半額を免除します。不許可となる場合もあります。

③申請時期

免除は年度を2期に分け半期分ごとに選考をします。(申請時期は3月と9月)

3) 入学料及び授業料の徴収猶予と申請資格について

①徴収猶予の対象者

経済的理由により、入学料または授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。または、次のa、bに該当する特別な事情により納付が著しく困難であると認められる者。

a 本学学生またはその学資負担者が災害を受け、納付困難と認められる場合

b その他やむを得ない事情があると認められる場合

②猶予期間について

入学料または授業料の徴収猶予が必要と認められた者については、9月30日まで猶予されます。(9月30日が土、日祝日の場合は、直前の平日までとなります。)

③申請時期

入学料徴収猶予 一般入試前期日程合格者の入学手続期間内(3月中旬)

授業料徴収猶予 3月1日～4月10日(4月10日が土、日祝日の場合は直前の平日までとなります。)

3. **学生寮** (本学 HP から情報が見られます)

本学には、学部生の入居できる以下の学生寮がありますが、入居希望者が多数の場合は選考を行います。(例年 1.7 倍程度の倍率)

本学ホームページには写真付きで紹介がありますので、そちらもご覧ください。

平成 25 年度 入寮申請日程(学部生共通)

寮名称	対 象	申請期間	結果発表	入寮予定日
国際学生 宿舍	日本人(新入生)	2月3日(月)	3月12日(水) 正午予定	未定
	AO・推薦・帰国・編入 留学生	～2月27日(木)		

寮名称	所在地	定員	居室	食事	寮費(1か月)	対象学生
国際学生 宿舍	板橋区仲町	399人	個室	なし	寄宿料 4,700 円 その他合計約 12,000 円	学部生 外国人留学生

※寄宿料については平成 26 年度以降値上げになる可能性があります。

4. **入学料・授業料免除と学生寮の申請書類について**

(1) 申請書の入手方法について

以下のいずれかの方法により、申請書類を入手してください。

1. お茶の水女子大学ホームページからダウンロードする(推奨)

2. 郵送で入手する

合格発表後に郵送する「入学試験合格者への連絡事項」の巻末にある別紙「入学料免除(授業料免除)等申請書類請求書」に所要事項を記載し、切手を貼った返信用封筒(角形2号 33cm×24cm)を同封のうえ請求してください。

請求する封筒左下には「〇〇関係書類請求」と朱書きしてください。

返信用封筒に貼る切手の金額は以下の通り。

請 求 資 料		切 手
入学料・授業料免除		200 円
学 生 寮	お茶大 SCC } 国際学生 宿舍 } 小石川寮 } いずれか一つ	200 円
	お茶大 SCC } 国際学生 宿舍 } 両方	240 円

※ 入学料・授業料免除資料および学生寮資料の両方を請求する場合は、請求期間が異なるので、それぞれ封筒を用意し、切手を貼付してください。

申請書類請求期間

学生寮:平成 26 年1月10日(金)～平成 26 年2月20日(木)

入学料及び授業料免除:平成 26 年2月1日(土)～平成 26 年3月20日(木)

※ダウンロードはいずれも申請期間の最終日まで対応しています。

(2) 問い合わせ先及び請求先

学生・キャリア支援チーム 入学料免除・授業料免除・学生寮担当 TEL 03-5978-5147

メールアドレス gakusei@cc.ocha.ac.jp

5. **アパート等の紹介**

大学周辺のアパート等の情報については、いつでも学生・キャリア支援チームで資料を閲覧することができますが、物件数等は必ずしも十分とはいえないので、親戚知人等の安心できる住居を確保するよう心掛けてください。また、本学の生協も民間の業者と提携して、学生向けの物件の紹介を行っています(優遇あり)。

○ お茶の水女子大学交通案内

最寄り駅等	{ 地下鉄丸ノ内線 地下鉄有楽町線 都営バス	茗荷谷駅 から 徒歩 約7分
		護国寺駅(5番口)から 徒歩 約8分
		大塚2丁目停留所前

◎ J R 池袋駅から

地下鉄利用の場合

丸ノ内線・池袋駅〔新宿、荻窪方面行〕——約5分——→ 茗荷谷駅 下車
 有楽町線・池袋駅〔新木場方面行〕——約4分——→ 護国寺駅 下車

都営バス利用の場合

池袋駅東口乗車〔東京ドームシティ行〕——約20分——→ 大塚2丁目停留所下車
 (都02乙番)

◎ J R 大塚駅から

都営バス利用の場合

大塚駅南口乗車〔錦糸町駅前行〕——約10分——→ 大塚2丁目停留所下車
 (都02番)

◎ J R 東京駅又は J R 御茶ノ水駅から

地下鉄利用の場合

丸ノ内線・東京駅〔池袋行〕——約5分—— 御茶ノ水駅 ——約6分——→ 茗荷谷駅下車

